

情報科学部のアドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

学力の3要素	① 知識・技能	高等学校で身につけるべき基礎的な知識・技能、特に数学や理科の力を備えた人
	② 思考力・判断力・表現力等	基礎的な知識・技能を元にして問題を解決できる論理的思考力、ならびに自らの考えを表現する力を備えた人
	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	情報科学に強い関心があり、その知識と技術を高めることによって社会の発展のために自らを生かしたいという意欲のある人

2. 入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います

選抜試験種別	一般入試	前期日程	評価する能力	大学入試センター試験で文系・理系双方の基本的な知識・技能、思考力・判断力を評価し、個別試験にて、数学の幅広い知識・技能とともに、論理的思考力・表現力を評価する。
			評価方法・比重	【大学入試センター試験】5教科6科目 【個別学力検査】数学 大学入試センター試験と個別試験の比重は2:1とする。
		後期日程	評価する能力	大学入試センター試験で特に理系の知識・技能、思考力・判断力を重点的に評価し、個別試験の面接にて、情報科学に対する関心・意欲を評価する。
			評価方法・比重	【大学入試センター試験】3教科4科目 【個別学力検査】面接 大学入試センター試験と個別試験の比重は9:1とする。
	推薦入試	推薦(県内)	評価する能力	出願資格としての成績要件ならびに適性検査で基礎的な知識・技能を評価し、外部資格検定試験で英語の技能を評価する。面接にて、情報科学に対する関心・意欲、主体的に学ぼうとする姿勢、ならびに協働性を評価する。
			評価方法・比重	出願書類、適性検査(数学・理科)、英語外部資格検定試験、および面接 適性検査と外部資格検定試験を合わせた知識・技能の評価と面接との比重は1:1とする。
	特別入試	社会人	評価する能力	数学の筆記試験および英語外部資格検定試験で基礎的な知識・技能を評価する。面接にて、情報科学に対する関心・意欲、主体的に学ぼうとする姿勢、ならびに協働性を評価する。
			評価方法・比重	数学、英語外部資格検定試験および面接 数学、英語、面接の比重は5:1:2とする。

		帰国 生徒	評価する能力	数学の筆記試験および英語外部資格検定試験で基礎的知識・技能を評価する。面接にて、情報科学に対する関心・意欲、主体的に学ぼうとする姿勢、ならびに協働性を評価する。
			評価方法・ 比重	数学、英語外部資格検定試験および面接 数学、英語、面接の比重は 5:1:2 とする。
		外国人 留学生	評価する能力	数学の筆記試験、英語外部資格検定試験ならびに日本留学試験で基礎的知識・技能を評価する。面接にて、情報科学に対する関心・意欲、主体的に学ぼうとする姿勢、協働性、ならびに日本語能力を評価する。
			評価方法・ 比重	数学、英語外部資格検定試験、面接および日本留学試験 数学、英語、面接、日本留学試験の比重は 2:1:1:2 とする。

情報科学部(編入学試験)のアドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

学力の3要素	③ 知識・技能	高等専門学校または高等学校専攻科の情報系学科で身につけるべき基礎的な知識・技能を備えた人
	④ 思考力・判断力・表現力等	基礎的な知識・技能を元にして問題を解決できる論理的思考力、ならびに自らの考えを表現する力を備えた人
	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	情報科学に強い関心があり、その知識と技術を高めることによって社会の発展のために自らを生かしたいという意欲のある人

2. 入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います

選抜試験種別	編入学試験	評価する能力	出願資格としての成績要件で基礎的な知識・技能を評価する。口述試験でこれまでの研究に関するプレゼンテーションおよびそれに関する試問を行うことで、基本的な知識、技能、ならびに情報科学に関する関心・意欲、主体的に学ぼうとする姿勢を評価する。
		評価方法・比重	口述試験（プレゼンテーション、口頭試問）